

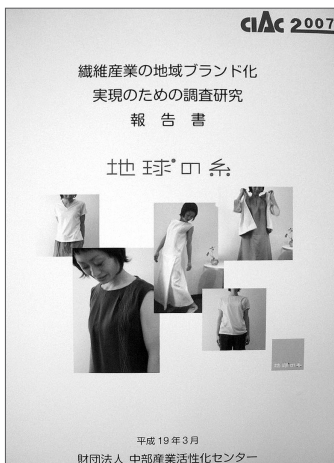


### 繊維産業の地域ブランド化 促進のための調査研究事業報告書

平成18年3月 制作発行：財団法人中部産業活性化センター

財団法人 中部産業活性化センターが財団の調査研究事業として行ったもので、伊藤はコーディネータとして全計画・実施に加わったものの報告書である。

平成17年後期より始めたプロジェクトである。アパレル産業の盛んな岐阜地区も生産基地の海外流出、安価な海外製品の日本進入など多くの問題点を抱えた、産地としての危機に立っている。そこに於いて岐阜のアパレル機能が今なら残れる、今なら岐阜発の製品を作ることが出来るという、危機感はあるがその中にあるわずかな期待感を実現化に持つていこうという計画を立て、勉強会・ワークショップを開催し、岐阜地区の青年たちを中心に啓蒙活動を行った。岐阜市立女子短期大学生活デザイン学科の学生は勉強会・ワークショップに参加して、一緒に勉強し、情報を共有している。



### 繊維産業の地域ブランド化 実現のための調査研究 地球の糸 報告書

平成19年3月 制作発行：財団法人中部産業活性化センター

昨年度につづき、岐阜アパレル青年部とともに、新たなブランド「地球の糸」の立ち上げをめざして、活動した。伊藤はコーディネーターとして、また、「地球の糸」設立メンバーとして、学を率いるものとして、デザイン提案の一員として参加した。このブランドの特徴は大正紬の近藤健一氏の開発した「天然素材」オーガニックにこだわった糸を使用、原料の生産者から最終商品までのトレーサビリティを重視したものである。この糸で作成されたテキスタイルを用い「地球の糸」としての製品デザインを行い、生産・販売していくものである。また、産・官・学の連携で行うという特長を持つ。岐阜県・岐阜市の助成を受けサンプル作成、ブランド登録、IFF出展を行った。岐阜市立女子短期大学は伊藤のゼミ生を中心に、ライフスタイルやトレンド情報等のファッションマップを作成、またデザイン提案に参加している。

この活動報告が出されたことにより、消費者、市場、繊維産業関係者から、非常に興味をもたれた。19年度は販売体制をどう整えるかが課題となっている。

(伊藤 陽子)